



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク・クウェイト関係

(7日付イラク首相府 HP ほか)

1. 首脳電話会談 (7日付イラク首相府 HP)

6日、マーリキー首相は、クウェイトのナーセル首相から電話連絡を受け、ナーセル首相は、イラク人漁師たちに起こったことに対する遺憾の意を表した。ナーセル首相は、両国間におけるこのような事案を防止するため、特に海軍間における協力と調整の強化に関わるクウェイトの希望を強調し、両国間の懸案解決に向けた同国政府の希望を改めて述べた。両者は、両国間における対話の継続と前向きな雰囲気維持の必要性について確認した。

注

9月2日、イラク人漁師11名がホール・アブダッラー水路を漁船1隻で航行中、クウェイト沿岸警備隊の攻撃を受け拘束されたとの報道後、4日に全員が解放されたとイラク外務省 HP が発表している。

2. ムバーラク港問題 (8日付サバーハ紙)

クウェイトのアリー・アッラーク内閣官房長官 (閣僚級) はサバーハ紙に対し、次のように述べた。

最近、クウェイトを訪問したハイレベル専門委員会は、ムバーラク港建設事業の詳細およびイラク航路に対する影響を内閣に提示した。イラク政府は同港建設により起こりうる影響を懸念しており、内閣、特に外務省と運輸省の立場を統一する必要がある。マーリキー首相は、イラクに現実的な立場を与えうる国際的な諮問機関との協力を支持している。イラク政府は、本件に対する法的側面の検討、および国際的な慣習に基づきイラクの権利をどれほど提示できるかを検討しつつ、クウェイト側との協議を継続する。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799